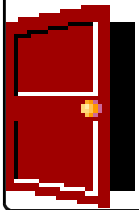


令和5年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

No. 8

桑村小学校令和5年5月8日 文責 渡邊

「読書講座」を開催し、令和5年度の読書活動推進リーダーを選出！

「読書活動推進リーダー」の活動は、令和4年度に始めた活動です。7名の6年生が自ら進んで手を挙げ、読書活動の楽しさを教職員とともに推進しました。その活動では学校長とともに朝会で、全校児童を前に読書の楽しさを伝えました。

参加した子供たちは、当初、教師とともに教育活動を進めるという活動に戸惑いが見られましたが、自分たちの学校は自分たちで創るという意識が芽生えたことにより、いろいろなアイデアを出す姿を見せるようになりました。

令和5年度はその活動に参加する子供たちの学年の枠を第6学年と第5学年の2学年へと広げました。4月に、今年度も学校長と学校運営協議会委員の鈴木さんが協働で「読書講座」を開催し、読書の魅力とその効果について子供たちと楽しく学びました。参加した第5学年児童は次のような感想をもったので紹介します。

わたしはこの話を聞いて、本はとても大切だし、それに将来にもつながると思いました。たしかに長い文と向き合うのは難しいと思いますが、校長先生の話を聞いて(本を読むことが苦手な人も好きな人もいるな)と思い、本を読むことが苦手であったわたしは、校長先生がたくさんの本とめぐり合わせてくれたので、本が好きになりました。校長先生ありがとうございます。わたしは「読書活動推進リーダー」になろうと思います。昨年の6年生が読書活動推進リーダーになって「エンジョイ読書」を広めたからです。私もやって桑っ子のみんなに読書の楽しさを伝えたいです。

令和5年度は、第5学年児童6名、第6学年児童8名が「読書活動推進リーダー」として読書活動を教師とともに推進していくことに手を挙げました。上記の感想にあるように、昨年度のリーダーの活躍が現在の5、6年生の活動へとつながっていったものと考えます。今後も、こうした活動が発展的に持続していくことを期待したいです。



【読書講座で話す校長】



【鈴木氏の講話の様子】



【考えを述べる子供の様子】

----- 切 り 取 り 線 -----

「読書活動の扉を開く」(5月8日号)を読んでの感想

()年()